

Osaka@EURO

n°5 - 2008年12月

11月は、年末を控えて、欧州で様々なビジネス活動が活発に展開される月ですが、今回は大阪市パリ事務所が参加した事業のうち代表的な会議、セミナーをご紹介します。

日蘭エネルギー会議（グローニンゲン）への参加

当事務所は、グローニンゲン（オランダ）において平成20年11月17日（月）～19日（水）の日程で行われた、日蘭エネルギー会議に参加しました。

この会議は、グローニンゲンに教育研究センターを持つ大阪大学と地元グローニンゲン大学が中心となって実現したものです。

大阪市と大阪大学は、包括連携協定を締結しており、協力の一環として、当事務所は会議参加者向けに「ものづくりのまち」大阪のPRを行いました。

この会議には、両大学の研究者のほか、関西電力や大阪ガス、シャープなどの関西のエネルギー関連企業、IEA（国際エネルギー機関）、EU諸国の政府関係者、ガスや電気など欧州の有力なエネルギー関連の会社が参加しました。

オランダは、すでに国土の約4分の1が、海拔より低く、エネルギー環境問題については、国を挙げて関心が高いことも会議開催の背景にはあります。

大阪のPRを通じての会議参加者の反応としては、関西電力が海面上昇で国の存在が脅かされている南太平洋のツバルに太陽発電施設（シャープ製）を建設・寄付したプロジェクトへの質問や、大阪発のロボット「PLEN」を見て、サービスロボット開発は、社会生活にどのように役立つのかといった質問が多くありました。

総体的に、産学官連携を背景とした大阪のものづくりの技術力の高さをアピールできたのではないかと思います。

関西セミナーの紹介

11月27日、パリのパレ・ド・コングレにおいて、「関西セミナー」が開催されました。「関西セミナー」は日仏交流150周年を記念した事業の一つで、フランスの旅行代理店を対象に、より関西を知っていただくために開催された関西広域機構主催のセミナーです。

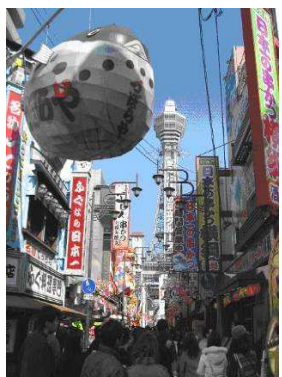
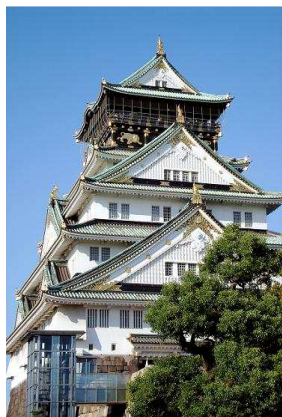


<http://www.kansai-japan.net/>

ユネスコの世界遺産にも登録されている姫路城と奈良県の紹介と一緒に、大阪市パリ事務所も大阪市をPRする時間をいただくことができました。

大阪市は、リヨン市が発案したデリス（「食」に関心の高い都市でネットワークを構築し、「食」に関わる課題や施策を多方面から検討することで、PRや住民の生活の質の向上を図ることを目的に活動している組織）に加盟したことを受けて、「食の都大阪」を重点的に紹介しました。また、大阪人が普段買い物に行く場所等、生活に密着した場所の紹介も行った結果、今回の内容が文化を愛するフランス人に受け入れられたようで、終了後、複数の旅行代理店から事務所において別途大阪市についての勉強会を開催してほしいというオファーもいただくことができました。これまでは、大阪には世界遺産がないことから、フランス人の中で知名度が必ずしも高くありませんが、このセミナーがフランス人に大阪の魅力を知っていただくことのできる絶好の機会であったと感じております。

今後も大阪の街を紹介し、より多くのフランス人の方々に大阪に来ていただけるようPRを続けてまいりたいと思います。



大阪大学

www.osaka-u.ac.jp

Bureau de Représentation de la Ville d'Osaka à Paris - info@osaka.fr
31 place de la Madeleine, 75008 Paris, France Tel : +33 (0) 1 40 15 93 66 - Fax : +33 (0) 1 40 15 91 72